

イーストスプリング・
グローイング・アジア
株式オープン

追加型投信／海外／株式

作成対象期間 2023年12月21日～2024年6月20日

第34期 2024年6月20日決算

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として日本を除くアジア地域において相対的に高い経済成長が見込まれる国の株式を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

日経新聞掲載名：グローアジア

第34期末(2024年6月20日)

基準価額	12,640円
純資産総額	3,242百万円
第34期	
騰落率	7.2%
分配金(税込み)合計	100円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<https://www.eastspring.co.jp/>

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページにアクセス⇒「ファンド情報」を選択⇒ファンド名を選択⇒「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書(全体版)」を選択

運用経過

基準価額等の推移について

(2023年12月21日～2024年6月20日)



期 首：11,887円

期 末：12,640円 (既払分配金(税込み)：100円)

騰落率： 7.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2023年12月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

(上昇要因)

- ・保有するアジア通貨が対円で上昇したこと。

1 万口当たりの費用明細

(2023年12月21日～2024年6月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	86	0.692	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(36)	(0.289)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(48)	(0.385)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.018)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	6	0.052	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.014)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(3)	(0.020)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(2)	(0.018)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	金銭信託に係る手数料等
合 計	92	0.744	
期中の平均基準価額は、12,457円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

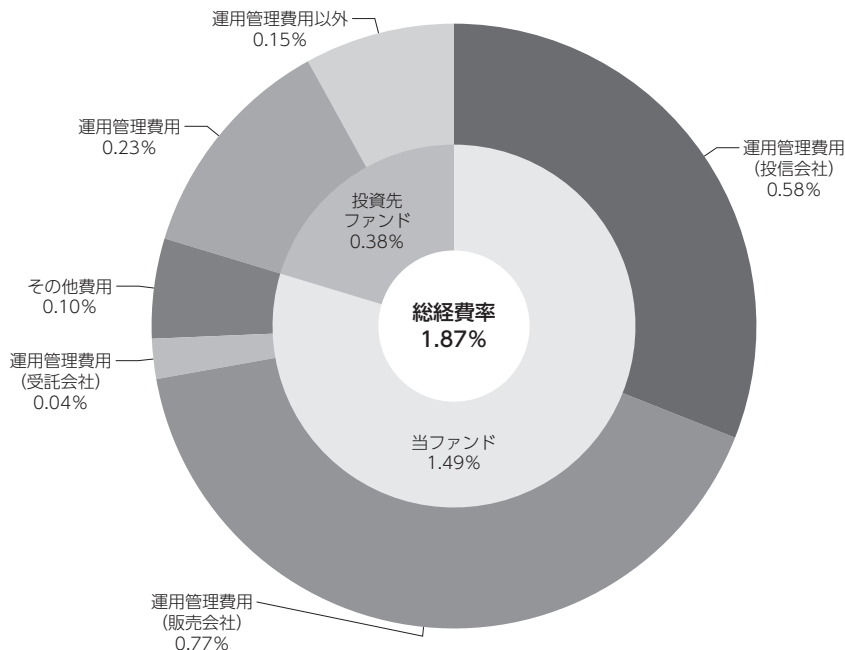
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.87%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	1.87
①当ファンドの費用の比率	1.49
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.23
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。

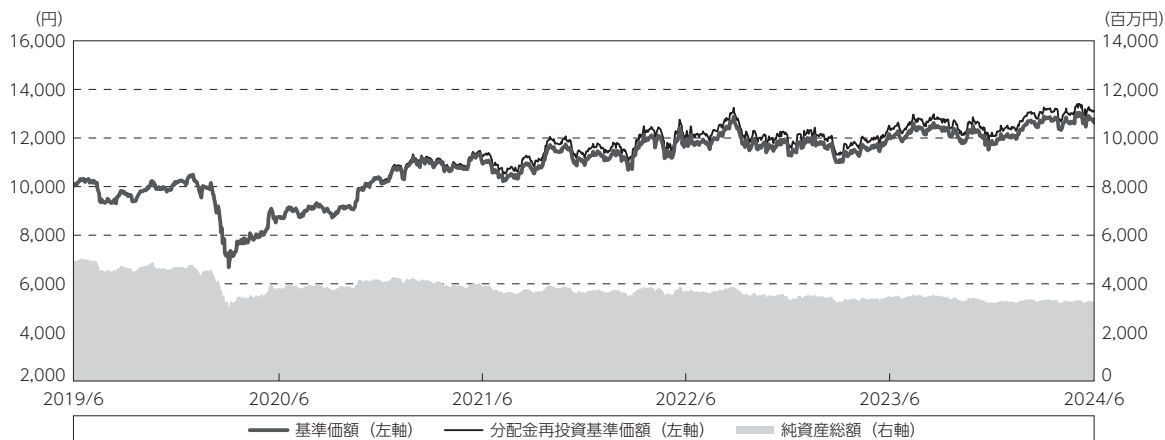
(注) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2019年6月20日～2024年6月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、2019年6月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2019年6月20日 決算日	2020年6月22日 決算日	2021年6月21日 決算日	2022年6月20日 決算日	2023年6月20日 決算日	2024年6月20日 決算日
基準価額 (円)	10,016	8,761	10,959	11,779	12,111	12,640
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	300	0	0	100
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 12.5	28.6	7.5	2.8	5.2
純資産総額 (百万円)	4,896	3,834	3,875	3,704	3,498	3,242

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

投資環境について

アジア株式市場

当期のアジア株式市場はまちまちの展開となりました。期初から2024年2月中旬にかけては中国が引き続き不動産市況の低迷、デフレ懸念などから軟調な展開となりました。一方、インドでは、発表された2024年度暫定予算案が財政赤字縮小、インフラ拡充などを掲げたことを市場は好感し、株式市場は堅調に推移しました。インドネシア、フィリピンについては、米国の利下げが後ずれし、通貨安が進んだことから株式市場は軟調な展開となりました。ベトナムについては、フロンティア市場からエマージング市場への格上げに対する期待の高まりなどを背景に比較的堅調な展開となりました。期末にかけては、インドの総選挙でモディ首相の率いるインド人民党が単独で過半数割れとなり、インド株式市場は一時的に急落しましたが、その後与党連合によって政権維持が決まったことから反発しました。

為替市場

期初から2024年4月末にかけての米ドルの対円相場は、概ね米長期金利の動きにほぼ連動した形となり、米ドルは上昇基調をたどりました。その後期末にかけては日本政府、日銀による米ドル売り・日本円買いの介入により米ドルの上値警戒感が高まり、1米ドル150円台後半で推移しました。アジア通貨は期中を通じて対米ドルでは下落しましたが、円が期中対米ドルで大幅下落したことから、対円では上昇しました。

ポートフォリオについて

当ファンド

主として日本を除くアジア地域において相対的に高い経済成長が見込まれる国の株式を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行いました。

主要投資対象国を中国、インド、インドネシア、フィリピン、マレーシア、タイ、ベトナムの7カ国としていましたが、この度、アジア各国・地域の経済状況等に鑑み、アジア地域において相対的に高い経済成長が見込まれるインド、インドネシア、フィリピン、ベトナムの4カ国を主要投資対象国とし、2024年3月19日以降、中国、マレーシア、タイを除外いたしました。

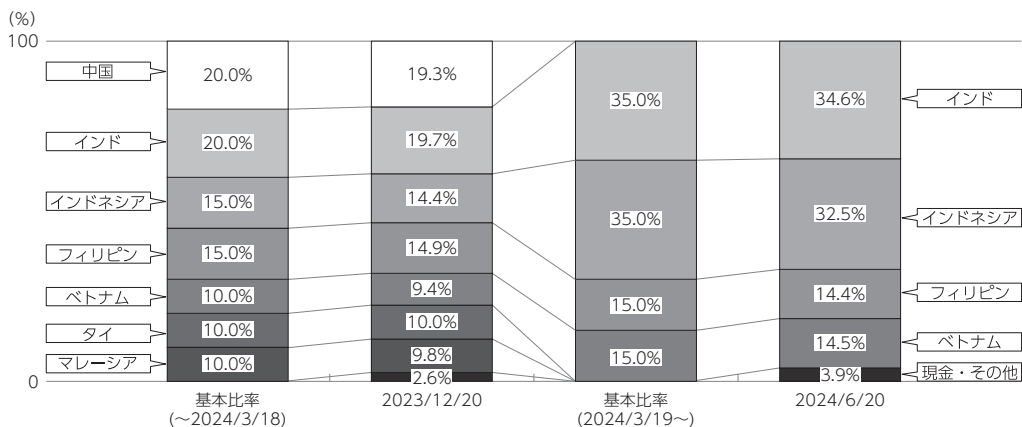
投資先ファンド

高い経済成長が続くアジア地域で、今後も特に高い成長が期待できると考えられる国々を当ファンドの実質的な主要投資対象国とし、ルクセンブルグ籍外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ」のサブファンド（米ドル建て）への投資を通じて投資を行いました。

国別の組入比率については、期中基本配分比率の変更を行い、中国、タイ、マレーシアの組入比率をゼロとし、インド、インドネシア、ベトナムの比率を引き上げました。

当期は、通貨が安定的に推移し、企業収益が好調な伸びを示す中、総選挙でモディ政権が継続することが決まったことなどを背景に株価が上昇したインドなどの保有がプラス要因となる一方、米国の利下げが後ずれしたことからインドネシアルピアが下落する中、通信および素材株中心に下落したインドネシアなどの保有がマイナス要因となりました。

国別投資比率の推移



(注) 国別投資比率は、各投資先ファンドの比率を用いています。比率は、純資産総額を100%として計算しています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第34期
	2023年12月21日～ 2024年6月20日
当期分配金	100
(対基準価額比率)	0.785%
当期の収益	99
当期の収益以外	0
翌期繰越分配対象額	3,310

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針について

当ファンド

主として日本を除くアジア地域において相対的に高い経済成長が見込まれる国の株式を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。

投資先ファンド

アジアでは、インドが総選挙でモディ首相の率いるインド人民党が事前予想に反し過半数割れとなったことから株式市場は一時的に急落しましたが、与党連合で過半数を維持したことからその後落ち着きを示しています。今後は経済成長の恩恵をあまり享受できていないと見られる農村地域や失業中の若者などへ配慮した政権運営が見込まれます。また、米国においては、政策金利の動向が最も重要であり、今年後半の大統領選に向けて米中関係の先行きにも注意を払う必要があります。アジア地域に関しては、各国で進められる構造改革などを背景に中長期的に高い経済成長を維持できるという見方は変わりありません。また株価収益率(PER)などのバリュエーションの観点からみて、米国や欧州などの主要市場と比べて割安な水準にあると判断されることはアジア株式市場の下支えとなると見られます。株式市場がマクロ経済や政治イベントなどの短期的なニュースに過剰に反応するような局面でも、長期的な視野をもってファンダメンタルズとバリュエーションを大局的に見極めるといった姿勢が重要であると考えています。

当ファンドでは、引き続きバリュエーションを重視したボトムアップアプローチの投資方針を維持し、長期的に持続可能な収益性と比較して、割安と判断できる企業を選別して投資を継続していく所存です。

お知らせ

2024年3月19日付で約款変更を行い、当ファンドの信託報酬の率を引き下げました。また、付表に定める投資対象となる投資信託証券および受益権の申込・一部解約不可日の一部を変更しております。なお、当ファンドの運用の基本方針、運用体制等につきましては、一切変更はございません。

1. 変更後の運用管理費用（信託報酬等）

当ファンド①	年率1.298% (税抜1.18%)	当ファンド ①の配分	(委託会社)
			年率0.495% (税抜0.45%)
			(販売会社)
			年率0.770% (税抜0.70%)
			(受託会社)
			年率0.033% (税抜0.03%)
投資対象とする投資信託証券②	年率0.39%程度*		
実質的な負担 (①+②)	年率 1.688%程度 (税込) *		

* 2024年3月19日時点の国別の基本比率に基づくものであり、組入状況等により変動することがあります。

2. 変更後の投資対象とする投資信託証券

下記、当ファンドの概要の主要投資対象をご参照ください。

3. 変更後のファンド取引休止日（購入・換金申込受付不可日）

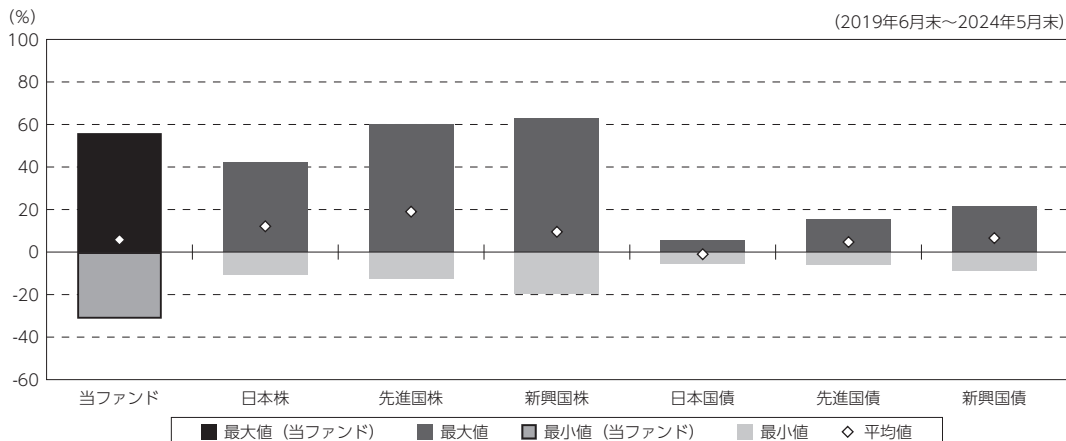
- ①シンガポールの金融商品取引所の休場日または銀行休業日
- ②ルクセンブルグの金融商品取引所の休場日または銀行休業日
- ③インドおよびインドネシアの金融商品取引所がともに休場となる日

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（2007年6月29日設定）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として日本を除くアジア地域において相対的に高い経済成長が見込まれる国の株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	主としてルクセンブルグ籍外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ」のサブファンド（米ドル建て）への投資を通じて、主要投資対象国の株式に投資を行います。 イーストスプリング・インベストメンツ - インディア・エクイティ・ファンド クラス J イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンド クラス J イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラス J イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J イーストスプリング・インベストメンツ - ベトナム・エクイティ・ファンド クラス J 投資信託証券は、今後変更される場合があります。 実際の投資にあたっては、すべての投資信託証券に投資するとは限りません。
運用方法	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（毎年6月20日および12月20日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	55.9	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
最小値	△ 31.3	△ 10.8	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	5.8	12.1	19.0	9.5	△ 1.0	4.7	6.6

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2019年6月から2024年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：配当込みTOPIX

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

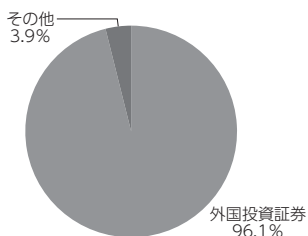
○組入上位ファンド

銘柄名	第34期末
	%
イーストスプリング・インベストメンツ・インドア・エクイティ・ファンド クラス J	34.6
イーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・エクイティ・ファンド クラス J	32.5
イーストスプリング・インベストメンツ・ベトナム・エクイティ・ファンド クラス J	14.5
イーストスプリング・インベストメンツ・フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J	14.4
組入銘柄数	4銘柄

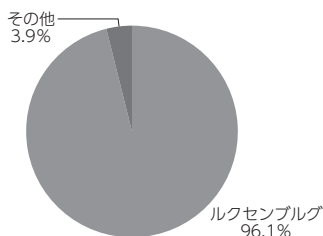
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

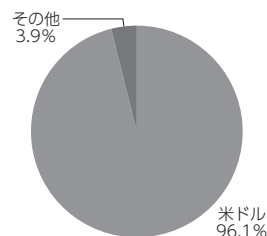
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

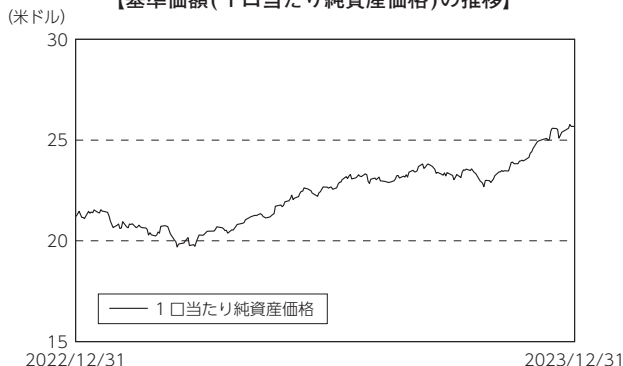
項目	第34期末
	2024年6月20日
純資産総額	3,242,146,113円
受益権総口数	2,565,035,402口
1万口当たり基準価額	12,640円

(注) 当期中における追加設定元本額は64,939,581円、同解約元本額は243,098,788円です。

組入上位ファンドの概要

イーストスプリング・インベストメンツ - インディア・エクイティ・ファンド クラスJ

【基準価額(1口当たり純資産価格)の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2023年1月1日～2023年12月31日)

当該期間のAnnual Report (監査済み) には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

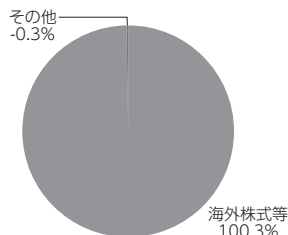
以下は、イーストスプリング・インベストメンツ - インディア・エクイティ・ファンドの内容です。

【組入上位10銘柄】

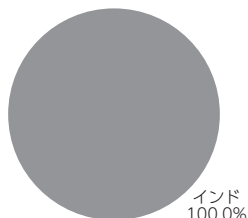
(2023年12月31日現在)

	銘柄名	業種	国・地域	比率
1	ICICI銀行	銀行	インド	6.5%
2	リライアンス・インダストリーズ	エネルギー	インド	6.4%
3	アクシス銀行	銀行	インド	4.4%
4	インフォシス	ソフトウェア・サービス	インド	3.8%
5	バルティ・エアテル	電気通信サービス	インド	3.6%
6	ウルトラ・テック・セメント	素材	インド	2.7%
7	サン・ファーマシューティカル・インダストリーズ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	インド	2.7%
8	マルチ・スズキ・インド	自動車・自動車部品	インド	2.7%
9	SBIカーズ&ペイメント・サービス	金融サービス	インド	2.3%
10	HDFC銀行	銀行	インド	2.3%
組入銘柄数			53銘柄	

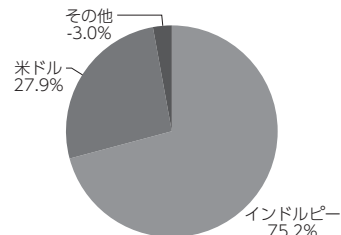
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの (監査済みおよび同時点の関連データを含む) を使用しています。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

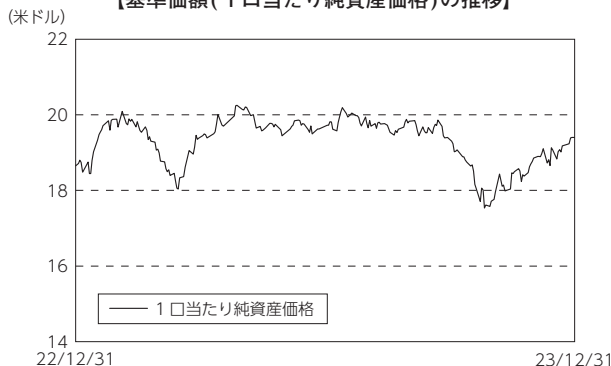
(注) 資産別配分において、未払金等の発生により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

(注) 通貨別配分において、基準日をまたぐ為替取引等の計上により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。

イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ

【基準価額(1口当たり純資産価格)の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2023年1月1日～2023年12月31日)

当該期間のAnnual Report (監査済み) には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

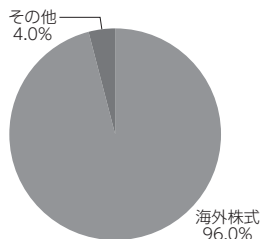
以下は、イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンドの内容です。

【組入上位10銘柄】

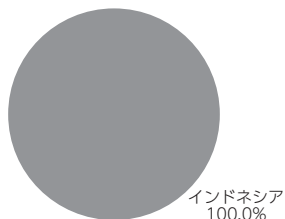
(2023年12月31日現在)

	銘柄名	業種	国・地域	比率
1	バンク・ラヤット・インドネシア	銀行	インドネシア	10.0%
2	バンク・マンディリ	銀行	インドネシア	9.8%
3	テルコム・インドネシア	電気通信サービス	インドネシア	9.6%
4	バンク・セントラル・アジア	銀行	インドネシア	7.8%
5	バンクネガラインドネシア	銀行	インドネシア	5.0%
6	スンブル・アルファリヤ・トリジャヤ	生活必需品流通・小売り	インドネシア	4.6%
7	ムルデカ・コッパー・ゴールド	素材	インドネシア	4.1%
8	カルベ・ファルマ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	インドネシア	3.9%
9	セメン・インドネシア	素材	インドネシア	3.8%
10	チャルーン・ポーカパン・インドネシア	食品・飲料・タバコ	インドネシア	3.7%
組入銘柄数			25銘柄	

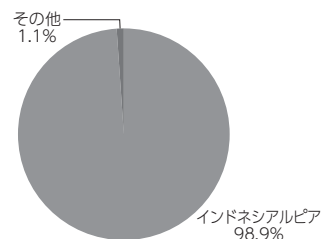
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



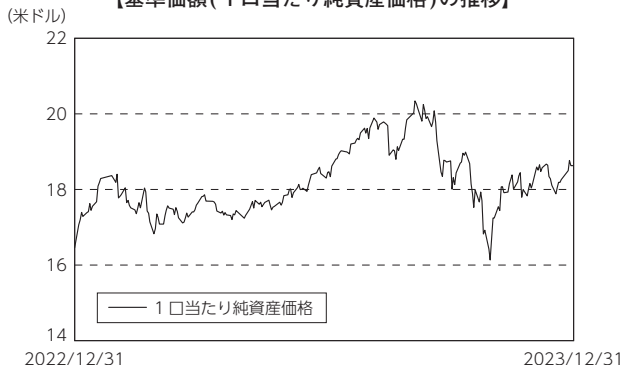
(注) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの (監査済みおよび同時点の関連データを含む) を使用しています。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。

イーストスプリング・インベストメンツ - ベトナム・エクイティ・ファンド クラスJ

【基準価額(1口当たり純資産価格)の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2023年1月1日～2023年12月31日)

当該期間のAnnual Report (監査済み) には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

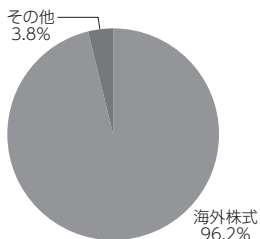
以下は、イーストスプリング・インベストメンツ - ベトナム・エクイティ・ファンドの内容です。

【組入上位10銘柄】

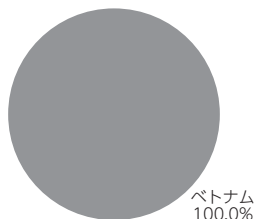
(2023年12月31日現在)

	銘柄名	業種	国・地域	比率
1	ホアファットグループ	素材	ベトナム	9.1%
2	SSIセキュリティーズ	金融サービス	ベトナム	6.6%
3	FPT	ソフトウェア・サービス	ベトナム	6.3%
4	ベトナム外商銀行	銀行	ベトナム	5.8%
5	ベトナム乳業(ビナミルク)	食品・飲料・タバコ	ベトナム	5.5%
6	イディコ	資本財	ベトナム	4.5%
7	ベトナム産業貿易商業銀行	銀行	ベトナム	4.4%
8	マッサングループ	食品・飲料・タバコ	ベトナム	4.3%
9	ホーチミン市証券	金融サービス	ベトナム	3.6%
10	ヴィグラセラ	資本財	ベトナム	2.9%
組入銘柄数			38銘柄	

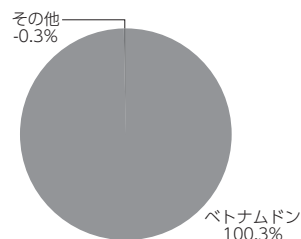
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの (監査済みおよび同時点の関連データを含む) を使用しています。

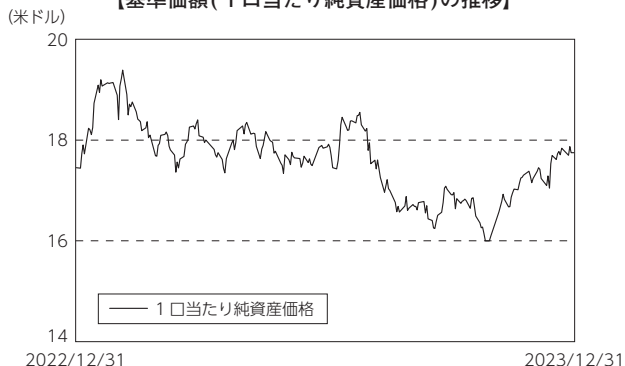
(注) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

(注) 通貨別配分において、基準日をまたぐ為替取引等の計上により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。

イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラスJ

【基準価額(1口当たり純資産価格)の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2023年1月1日～2023年12月31日)

当該期間のAnnual Report (監査済み) には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

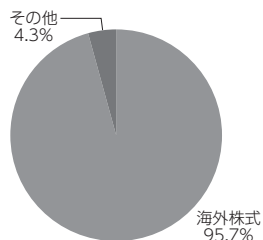
以下は、イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンドの内容です。

【組入上位10銘柄】

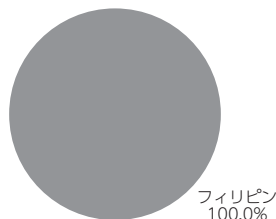
(2023年12月31日現在)

	銘柄名	業種	国・地域	比率
1	SMプライム	不動産管理・開発	フィリピン	9.7%
2	バンク・デ・オロ・ユニバンク	銀行	フィリピン	9.5%
3	SMインベストメンツ	資本財	フィリピン	9.5%
4	フィリピン・アイランズ銀行	銀行	フィリピン	8.4%
5	アヤラ・ランド	不動産管理・開発	フィリピン	5.0%
6	インターナショナル・コンテナ・ターミナル・サービス	運輸	フィリピン	4.9%
7	PLDT	電気通信サービス	フィリピン	4.9%
8	ユニバーサルロピナ	食品・飲料・タバコ	フィリピン	4.9%
9	ジョリビー・フード	消費者サービス	フィリピン	4.9%
10	アヤラ	資本財	フィリピン	4.6%
組入銘柄数			26銘柄	

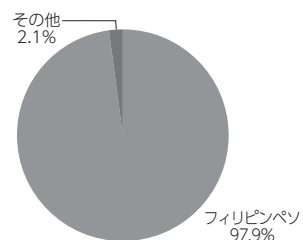
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの (監査済みおよび同時点の関連データを含む) を使用しています。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○配当込みTOPIX

配当込みTOPIXは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、配当込みTOPIXの指数値及び同指数に係る標章又は商標は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社の知的財産です。

○MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。